花ごよみ

12月
2026年
11月25日
286号
発行：（公財）東京動物園協会　井の頭自然文化園

冬毛とツバキの季節のはじまり

ツバキの季節が始まりました。4 月頃までさまざまな品種が咲き、見頃は品種によって異なります。カワウソ舎やテン舎の柵内に咲いているのは、サザンカとの交配種のカンツバキです。カンツバキが咲く中、冬毛に替わった動物たちをご覧ください。












冬毛の
ホンドテン

クリスマスを彩る植物

「クリスマスホーリー」として日本でクリスマスの飾りに使われるのは、ヤバネヒイラギモチです。節分に使われるヒイラギとは別の植物です。赤く目立つ実ですが、秋は野鳥が他の実を優先的に食べるので、❻～❽などはクリスマスまで実が残ります。







紅葉に彩られる文化園

「はな子カフェ」前の丸い樹形が印象的な大イチョウや、水生物園のラクウショウの樹林帯が色づきます。紅葉が終わると、園内のいたるところに色とりどりの落ち葉の絨毯が広がるのも、樹木が多い文化園ならではの光景です。



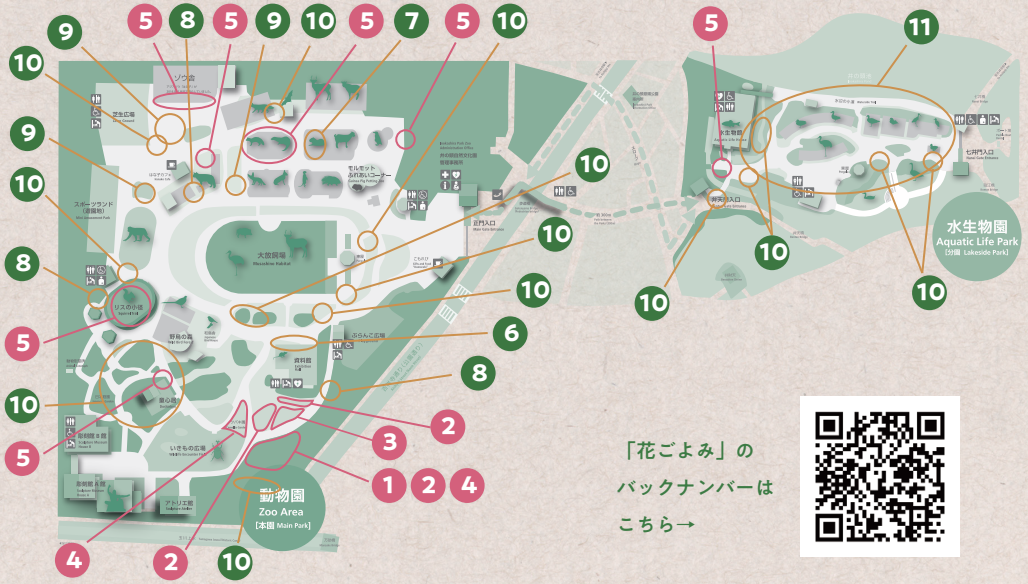




落ち葉図鑑

A：イチョウ
B：イロハモミジ
C：ハナミズキ
D：トウカエデ
E：アカマツ
F：ホオノキ
G：ラクウショウ
H：コナラ





「花ごよみ」の
バックナンバーは
こちら→